

武蔵野美術大学

Musashino Art University

2026年度 学生募集要項

総合型選抜〔後期〕

入学試験に関する問い合わせ

武蔵野美術大学入学センター

187-8505 東京都小平市小川町1-736 1号館3階

電話 042-342-6995 メール nyushi@musabi.ac.jp

受付時間 9:00～16:30(日曜・祝日を除く)

試験日当日を含め受験生へのお知らせは大学webサイトに掲載します

<https://www.musabi.ac.jp/>

*試験予定は今後の情勢次第で変更になる可能性もあります。
*本要項の内容に変更があった場合は、別途本学Webサイトにてお知らせします。

目次

- P01 アドミッションポリシー
- P02 出願資格
- P03 出願書類
- P05 出願にあたっての注意
ポートフォリオ提出(油絵学科グラフィックアート専攻・彫刻学科)
受験時の配慮
- P06 総合型選抜[後期]の流れ
- P08 試験日程および提出物
事前相談(メール・オンライン面談)*希望者のみ
- P09 入学試験場
受験上の注意
不正行為
入学手続き
- P10 在留資格「留学」の取得について
学費
通信機器(ノートパソコン等)の準備について
奨学金制度について
入学前課題について
過去の入試データ
- P11 油絵学科グラフィックアート専攻(一般方式)
- P13 彫刻学科(一般方式)
- P15 映像学科(ディレクション資質重視方式)
- P17 Q & A
- P18 本学へのアクセス

アドミッションポリシー

造形学部

武蔵野美術大学は創立以来の教育理念に基づき造形芸術の専門教育を
実践し、多くの優れた人材を輩出してきました。本学教育課程を主体的に
修め努力できる次のような資質・能力を備えた学生を求めています。

1. 専門性と表現を深めるための基礎的な学力を身につけてい
る人
 2. 専門性を支える幅の広い造形力や教養を総合的に身につけ
ようとする人
 3. 論理的思考・創造的思考を働かせて独自の表現で伝えよう
とする人
 4. 文化の創造発展に寄与し、社会で活躍しようとする人
-

造形構想学部

造形構想学部では、総合的な人間形成としての造形教育と社会に対する
広範な知識の教授を通じて、美術・デザイン領域のみならず、広く社会問題
の解決や新たな人類価値の創出を行いうる柔軟な発想や構想力を有する
人材、すなわち創造的思考をもって社会的イノベーションに寄与する人材
を養成する、という教育研究上の目的に鑑み、次のような学生を求めます。

1. 自らの目指す専門性を着実かつ大胆に深化、開拓しようと
する人
 2. 専門性を支える幅の広い創造的思考力や教養を身に付けよ
うとする人
 3. 文化・技術の創造発展・革新に寄与し、社会の様々な領域で
活躍しようとする人
-

*別途、総合型選抜[前期]の募集要項も公開しています。

出願資格

「一般方式、ディレクション資質重視方式^{※1}」

油絵学科グラフィックアート専攻、彫刻学科、映像学科

日本国籍（永住資格を持つ者を含む）の者：次の(1)、(2)の要件をすべて満たしている者。

外国籍（永住資格を持つ者をのぞく）の者：次の(1)～(3)の要件をすべて満たしている者。

(1)出願学科で学ぶことを強く希望し専願する者で、合格した場合は必ず入学することを確約できる者。

(2)次のいずれかに該当する者または2026年3月31日までにこれに該当する見込の者。

①日本国内の高等学校または中等教育学校を卒業した者。

②特別支援学校の高等部または高等専門学校³の3年次を修了した者。

③外国において学校教育制度に基づく12年の課程を修了した者、またはこれに準じる者で文部科学大臣の指定した者。

※外国においてその国の正規の教育制度により、初等／中等教育を受けた期間が12年に満たない者のうち、文部科学大臣の指定した準備教育課程を修了した者または修了する見込の者は出願できません。

なお、文部科学大臣が指定したウクライナ、ウズベキスタン、スーダン、ベラルーシ、ペルー、ミャンマー、ロシア、カザフスタンの課程を修了した者は、準備教育課程の修了は必要ありません。

※外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、欧州バカロレア資格、GCEAレベル資格・国際Aレベル資格（Aレベル試験1科目以上合格、評価E以上）のいずれかを保有する者は出願できます。

※国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者または修了する見込の者は出願できます。

※外国の大学入学資格検定に合格している者は出願できます。

④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。

⑤専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

⑥文部科学大臣の指定した者。

⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）。

⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年4月1日までに18歳に達する者。^{※2}

(3)日本留学試験の「日本語（読解および聴解、聴読解）」で280点以上得点を得ている者、または日本語能力試験でN1レベルに合格している者。^{※3}

※1 総合型選抜[前期]映像学科（クリエイション資質重視方式）に出願した方は、ディレクション資質重視方式への出願はできません。

※2 出願資格(2)の⑧で出願しようとする者については入学資格の事前審査を要します。

審査申請の詳細については、本学webサイト

「個別入学資格審査」ページ[<https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exceptional/#anchor1>]を参照、または入学センターまでお問い合わせください。

入学資格審査申請期限 8月30日(土)必着

※3 日本留学試験は出願時から遡り過去3回分（2024年6月、2024年11月、2025年6月）を有効とします。日本語能力試験は2011年以降実施分を有効とします。

○出願資格について不明な点がある場合は、出願期間開始の30日前までにお問合せください。

出願資格を有していることが確認できない場合は出願を受け付けないことがあります。

出願書類

- *原本と記載されているものは、必ず原本を提出してください。
- *出願書類は返却いたしません。

①志願確認書(全員)

- web出願システムで出願登録が完了すると、出力できます。
- *出願登録完了後に入力内容に間違いが見つかった場合は、赤いペンで修正し、修正箇所が目立つようにしてください。

②調査書またはその他の証明書(全員)

- *調査書は出願3か月以内に発行された、出身学校長作成の未開封のものを1通提出してください。
- *ただし、次に該当する者は、それぞれ所定の証明書を提出してください。
 1. 外国において学校教育制度に基づく12年の課程を修了または修了見込の者:修了(見込)証明書および成績証明書の原本(発行日は問いません)
 2. 専修学校の高等課程修了(見込)者:修了(見込)証明書および成績証明書の原本(出願3か月以内発行のもの)
 3. 高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者、大学入学資格検定試験合格者:合格(見込)成績証明書の原本(出願3か月以内発行のもの)
 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者:「武蔵野美術大学入学資格認定書」のコピー
 5. 調査書の提出が困難な者(出身学校の廃校や発行可能期間終了により、調査書が提出できない場合):卒業証書(Diploma/卒業证书)を出願期間前に入学センター(1号館3階)まで持参して直接確認を受けてください。

原本が日本語または英語の場合	原本が日本語または英語以外の言語の場合	
原本を提出	・大使館などの公的機関または日本語学校(現在日本国内の日本語学校に在籍中の場合のみ可能)で証明を行う場合 原本と大使館などの公的機関または日本語学校で証明した日本語または英語訳の原本の両方を提出	・中華人民共和国公証役場で証明を行う場合 公証役場が作成した「公证书」原本を提出
原本	原本	原本
		原本

- *中国の現地正規課程による高等学校を卒業した方は、卒業証明書の原本に代わって以下の認証書でも構いません。
- ・CSSD(Center for Student Services and Development, Ministry of Education, P.R. China)が発行する英語による「Verification Report of China Secondary Education Qualification Certificate」を申請し、印刷したもの
- ※Verification Reportの申請についてはCHSIのウェブサイトを確認してください。
- ※発行に時間がかかる場合もあるようです。十分に余裕を持って申請してください。

③誓約書(全員)

- *本学所定の用紙を巻末から印刷の上、記載事項を確認し、署名・捺印してください。
- *ペンで記入をしてください。

④提出作品自己作成証明書(該当者のみ)

- *油絵学科グラフィックアーツ専攻、彫刻学科の受験生は提出が必須です。
- *本学所定の用紙を巻末から印刷の上、必ず各学科の記入例を参照し、署名・捺印してください。

⑤自己推薦調書(該当者のみ)

- *映像学科の受験生のみ提出が必須です。
- *本学所定の用紙を巻末から印刷し、記入してください。

⑥在留資格を証明する書類(外国籍の方(永住資格を持つ方を含む)のみ)

- *以下のうちどちらか1枚を提出してください。

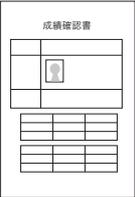
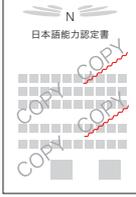
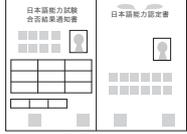
日本に在留している場合	日本に在留していない場合
・在留カードの両面のコピー *裏面に記載がなくても、必ず両面のコピーを取ってください *更新予定の場合は、コピーの余白にそのことを記載してください(例:00年00月更新予定) *A4サイズ用紙にコピーしてください	・パスポートの身分事項(氏名、顔写真、生年月日、国籍、パスポートの有効期限等)が記載されているページのコピー *A4サイズ用紙にコピーしてください

⑦外国人留学生入学志願者調書(外国籍の方(永住資格を持つ方をのぞく)のみ)

- *本学所定の用紙を巻末から印刷し、記入してください。

⑧日本語能力レベルを証明する書類（外国籍の方（永住資格を持つ方をのぞく）のみ）

*日本留学試験（EJU）と日本語能力試験（JLPT）どちらかを選び、以下（1）～（6）のうち、いずれか1枚を提出してください。
 *（3）成績確認書は、EJUオンラインの「成績確認専用ページ」から印刷の上、提出してください。

日本留学試験（EJU）で出願する場合			日本語能力試験（JLPT）で出願する場合		
以下3回を対象とします 2024年6月、2024年11月、2025年6月			以下の期間に実施された試験を対象とします 2011年7月～2025年7月実施分		
（1）	（2）	（3）	（4）	（5）	（6）
 <p>COPY</p>	 <p>COPY</p>	 <p>EJUオンラインから印刷</p>	 <p>COPY</p>	 <p>COPY</p>	 <p>COPY</p>

⑨新旧氏名がわかる英語または日本語で記載された公的書類（出願時の氏名と証明書等の氏名が異なる者のみ）

☒ 出願にあたっての注意

- 出願書類に不備があった場合は、出願が無効となる場合があります。
- 検定料支払い後の志望学科の変更は認めません。
- 一旦、受理した出願書類および検定料は、本人の責任によらない場合も含め事由のいかんを問わず返還しません。
- 出願書類に虚偽の記載があった場合、合格を取り消すことがあります。
- 出願書類の到着や不備の有無の確認等、個別の問い合わせには対応できません。
- 出願期間開始以降は授業公開への申込みはできません。

☒ ポートフォリオ提出（油絵学科グラフィックアーツ専攻・彫刻学科）

「提出作品自己作成証明書」(本学所定の用紙)は他の出願書類とあわせて郵送してください。志願者本人は提出するポートフォリオが自ら制作したものであることを誓約してください。また、指導教員等よりポートフォリオが志願者本人のものであることの証明を取得してください。親族・友人による証明は不可とします。

「作品用氏名ラベル」(本学所定の用紙)をポートフォリオに貼付の上、試験当日に提出を行ってください。

本学所定の用紙については巻末より印刷し、黒のボールペンで記入してください。

☒ 受験時の配慮

身体上の理由により、受験の際に配慮を希望する場合は、本学webサイト「入学試験受験上の配慮をご希望の方へ」

[https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exam_support/]の内容をご確認の上、以下の期日までに申請(相談)に必要な書類を入学センター(e-mail:nyushi@musabi.ac.jp)までお送りください。また、出願後に不慮の事故等(交通事故、負傷、発病等)により配慮が必要となった場合は、速やかに入学センターにご連絡ください。

2025年10月10日(金)16:30必着

*入学試験に合格し、入学する場合は改めて「支援要望書」をご提出いただき、新入生・所属研究室・保健室等との面談により支援内容を決定します。要望内容によっては、入学試験時には対応可能であっても入学後の継続的な対応ができかねる場合がありますことを、あらかじめご承知おきください。

総合型選抜〔後期〕の流れ

事前相談(メール・オンライン面談) (P08で詳細を確認してください)

出願(①~⑤)

① web出願のガイダンスページへアクセス
<https://www.guide.52school.com/guidance/net-musabi/>

出願手続きの流れなどをよく読んで出願方法を確認してください。



② ガイダンスページからマイページへアクセス

受験者情報・顔写真を登録してください。



③ 入試種別の選択・出願情報の入力

画面の表示に従って必要な情報を入力してください。

〔出願初日は9:00~、出願最終日は15:00まで〕



※マイページは1人一つのみ作成してください。作成後に別のメールアドレスで新たにマイページを作成することはしないでください。

※出願最終日の15:00までに、web出願登録が完了していることが必要です。15:00時点で登録途中である場合は出願とは認められませんのでご注意ください。また、PC、ネットワーク環境の不調により期限内に登録完了できなかった場合も救済措置は行いませんので、時間に余裕を持って操作を行うようにしてください。

④ 検定料の支払い

登録完了画面から支払い専用サイトへ移動し、下記より支払い方法を選択してください。

支払い可能な取扱い機関

クレジットカード

- VISA
- MasterCard
- JCB
- AMERICAN EXPRESS
- Diners Club

クレジットカードでの支払いはカード情報の入力完了と同時に決済となります。

コンビニエンスストア

- デイリーヤマザキ
- ヤマザキデイリーストア
- ローソン/ミニストップ
- ファミリーマート
- セイコーマート

「お支払情報取得」ボタンをクリックすると、支払い時に必要となる番号が表示されます。支払い機関によって手順が異なるため、ご確認のうえ、検定料をお支払いください。

ATM(Pay-easy利用可能なATM)

- ゆうちょ銀行
- 三菱UFJ銀行
- 三井住友銀行
- みずほ銀行
- りそな銀行など

ネットバンキング

主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。



*コンビニ、クレジットカードなど検定料の支払いは支払い方法ページを参照してください。

検定料 **35,000円**

*web出願システムより出願期間内にお支払いください。

*検定料の他に、サービス利用料990円が必要です。登録時にご確認ください。

(11月19日(水)18:00までにお支払いください。)

※まだ出願は完了していません。次のページへ進んでください。

2025年
 11月11日(火)
 9:00~
 11月19日(水)
 15:00

総合型選抜(後期)

⑤ 登録完了画面または申込確認画面で志願確認書を A4 サイズでプリントアウトし、他の出願書類 (P03、04 参照) とともに大学へ郵送 (速達・簡易書留)

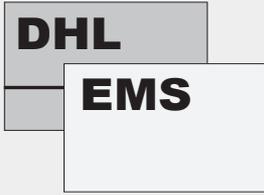
日本国内から郵送



宛名ラベルを貼付した角2サイズの封筒で郵送 (速達・簡易書留)

11月19日 (水) 消印有効

日本国外から郵送



宛先
Musashino Art University
Admission Section
1-736 Ogawa-cho,
Kodaira-shi, Tokyo
187-8505 Japan

発送状況を確認できる方法で郵送 (宛名ラベルも同封してください)

11月19日 (水) 武蔵野美術大学必着

2025年
11月11日 (火)
9:00~
11月19日 (水)
15:00

出願完了

※出願完了の連絡は行いません。不備があった場合は、出願時に登録いただいた電話番号やメールアドレスに連絡します。
※出願書類の到着や不備の有無の確認等、個別の問い合わせには対応できません。

12月1日 (月)
11:00

映像学科ディレクション資質重視方式 第1次選考 合格発表

結果は本学webサイトに掲示します。
※第2次選考を受験できるのは第1次選考合格者のみです。

12月3日 (水)
11:00以降

受験票のプリントアウト (受験番号の公開)

受験票は郵送されません。マイページへアクセスしA4サイズの通常コピー用紙に受験票をプリントアウトし、切り取り線に従って切り取ってください。
※拡大または縮小して印刷したもの、印刷不鮮明なもの、汚損・汚れの大きいもの、裏面印刷のあるものは無効です。

試験日前日
までに掲載

面接時間、試験会場の掲載

大学webサイト[https://www.musabi.ac.jp/exam_info/]に掲載します。必ず試験前に確認し、プリントアウトするかブックマークするなどし、試験日当日に確認できるようにしておいてください。

学科・方式により
異なる

第2次選考 入学試験 (全方式)

プリントアウトした受験票を持参してください。試験会場は上記URLから確認してください。開門時間は8:00 (予定) です。それより前に学内に入ることはできません。

12月25日 (木)
11:00

合格発表

web出願システムのマイページ[<https://exam-entry.52school.com/musabi/mypage/>]にて発表します。「可否結果」ボタンから確認してください。
合格者はマイページトップに戻り、「入学手続き」ボタンから案内に従って入学手続きを行ってください。合格通知書等もそこからダウンロードできます。郵送による通知は行いません。
なお、可否に関して、電話等による問い合わせには回答しません。

2026年
1月13日 (火)

入学手續締切

合格者は所定の入学手續期間に「オンライン入学手續」での情報登録、学費の納入 (銀行振込)、入学手續書類の郵送まで完了してください。いったん納入された入学金、授業料、その他の学費は返還されません。理由を問わず入学手續期限後の手續は認めません。

2026年
4月

入学

個人情報の保護について

出願にあたってお知らせいただいた住所、氏名、その他の個人情報は、学校法人武蔵野美術大学個人情報保護基本方針に則り、入学試験業務、および個人を特定しない形での各種統計資料作成にのみ利用します。これらについては個人情報保護法規定に則して契約を締結した委託業者において行います。出願された方の個人情報は武蔵野美術大学が明示する用途に限り使用し、委託業者がその委託業務を超えて他の目的に使用することはありません。

☐ 試験日程および提出物

		出願期間		第1次選考	第2次選考				
		11月11日(火)～11月19日(水) *web出願登録は11月19日(水) [15:00]まで *検定料の支払いは11月19日(水) [18:00]まで		第1次選考 合格発表 12月1日(月) 11:00	12月13日(土)、 12月14日(日)	12月21日(日)			
学部	学科・専攻	方式	募集人員	出願時に提出する 選考資料	第1次 選考内容	第2次選考内容※2		合格発表	詳細 ページ
造形学部	油絵学科 グラフィック アーツ専攻	一般方式	3	—	実施しない	○ポートフォリオ ○デッサン ○面接		12月25日 (木)	P11
	彫刻学科		3	—		○ポートフォリオ ○塑造 ○面接			P13
造形構想学部	映像学科	ディレク ション 資質重視 方式	8	自己推薦調書(本学所定の用紙)※1	○自己推薦調書 による審査	○構想力テスト ○面接			P15

※1 用紙は巻末より印刷し、BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認めません。

※2 面接試験は全て日本語で行われます。

☐ 事前相談（メール・オンライン面談）＊希望者のみ

○事前相談(彫刻学科、映像学科)

彫刻学科、映像学科では希望者に対して、出願前にe-mailによる事前相談を受け付けます。

相談の際はタイトルを「総合型選抜[後期]事前相談申込」とした上で、氏名、住所、電話番号、出身もしくは在籍学校名、相談内容を記入し、10月30日(木)までに下記アドレスまでメールしてください。

○事前相談メールアドレス

彫刻学科

scp@musabi.ac.jp

映像学科

eizou@musabi.ac.jp

○オンライン面談(彫刻学科)

彫刻学科では希望者に対して、オンラインで面談を行う予定です。

面談の申し込みについては下記URLにて確認してください。

<https://www.musabi.ac.jp/prospective/guidance/labo/>

＊事前相談(メール・オンライン面談)は希望者に対して実施するもので、必ず行わなければならないものではありません。また、相談内容等が選考に反映されることはありません。

☒ 入学試験場

武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス

東京都小平市小川町1-736

大学では駐車場を用意しておりません。公共交通機関を利用してください。

自家用車等での送迎は、路上駐停車により近隣にお住まいの方の迷惑となりますので、ご遠慮ください。

☒ 受験上の注意

入構	入構受付時に受験票を確認しますので、あらかじめカバン等から出しておいてください。開門時間以降試験開始の30分前までに入構するようにしてください。 受験生は試験終了まで試験場から退出することはできません。受験生以外は入構できません。控室もございません。
受験票	プリントアウトした受験票を必ず携帯してください。試験当日、受験票を忘れたり、紛失・汚損したときは、入学センターまで申し出てください。受験票の再発行には時間を要することがありますが、そのことによる試験時間の延長等はいりません。
時計	試験場には時計はありません。必要な場合は持参してください。使用する際はアラーム音等を必ず切ってください。また、携帯電話・スマートフォンを時計代わりに使用することは禁止します。スマートウォッチの使用も禁止します。
携帯電話・スマートフォン・その他の電子機器類	試験場内での携帯電話・スマートフォンおよびスマートウォッチ、タブレット、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類の使用は一切禁止します。試験場に入室する前に必ず電源を切り、カバンにしまってください。試験時間中、上記電子機器類をカバンにしまわず、身につけていた場合は不正行為とみなすことがあります。
試験中	実技試験の用紙、キャンパスおよびイーゼル等は本学で用意するものを使用します。 実技試験によっては、当日試験場にて席順を抽選で決めるものもあります。 答案用紙の指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。 試験時間中に発病その他の事故などが起きたときは、試験監督へ申し出て指示に従ってください。
失格	受験すべき科目を1科目でも受験できなかった場合は失格(不合格)となり、以降の試験科目は受験できません。
服装	英文字、地図がプリントされている衣服は着用しないでください。着用している場合、脱いでもらうことがあります。 また、試験時間中に換気を行うことがあります。最大限の防寒対策を施した上で来校し、試験中に体温調整ができるように準備してください。
感染症	試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、結核、はしか、新型コロナウイルス感染症等)に罹患している場合は、他の受験生や試験監督等への感染の恐れがあるため、受験をお断りします。なお、この場合であっても追試験等の特別措置は行いません。
昼食	試験が午前・午後にわたる場合は、昼食を持参してください。食堂を利用することや、構外に買いに出ることはできません。
解答	試験の解答の所有権、著作権は本学に帰属し、解答用紙等の返却はいたしません。また、本学の入試資料として入学試験問題集や入学試験ガイド、本学webサイト等に掲載、進学説明会等で展示することがあります。

☒ 不正行為

以下に例示した行為をした場合、不正行為とみなすことがあります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止、退室を命じ、以降の受験は認めません。また、受験したすべての科目の成績を無効とします。なお、入学検定料は返還しません。

- ①出願の際に提出した書類、資料、情報等に偽造、虚偽記載、剽窃等があった場合。
- ②カンニング(カンニングペーパー・参考書・スケッチブック・スクラップブック等の素材集を使用する、学力試験・小論文等において他の受験者の答案等を見る、他の者から答えを教わる等)をすること。
- ③他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④試験開始の指示の前に問題を見る、解答を始める、裏面・余白等に書き込みを行うこと。
- ⑤試験中断、終了の指示に従わず、用具を持っている、解答を続けること。
- ⑥試験時間中に携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類等をカバンなどにしまわず、手に持ったり、身につけていること。
- ⑦試験時間中に携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類等を使用すること。
- ⑧他の受験者と用具の貸し借りや私語をすること。
- ⑨試験時間中に試験監督の許可なく自席を離れること。
- ⑩試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑪試験場において試験監督の指示に従わないこと。
- ⑫その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

☒ 入学手続き

合格者に対して入学手続き書類の郵送はありません。

入学手続きについては、大学webページに掲載する「入学手続き要項」を確認のうえ手続きしてください。

入学手続き方法

【出願マイページ】の【入学手続き】より、入学手続きシステムにログインして手続きしてください。

詳細は「入学手続き要項」を参照し、期限までに手続きを終えてください。

<https://www.musabi.ac.jp/admission/successful/>

手続き期限:2026年1月13日(火)

在留資格「留学」の取得について

外国籍で日本に居住していない(在留資格を持っていない)方および入学までに在留期限が切れる方は、入学手続とあわせて、在留資格の取得または在留期間の更新が必要です。(※2026年4月1日までに在留資格『留学』を取得していただく必要があります)
 「留学」の在留資格申請のためには、まず代理人(武蔵野美術大学)が、日本国内の法務省出入国在留管理庁(入国管理局)に「在留資格認定証明書(COE)」の交付申請を行う必要があります。詳細については、合格者向けwebサイトで確認してください。
 在留資格認定証明書の代理申請や在留期間更新・在留資格変更の申請に必要な資料の作成は、入学手続の完了確認後です。希望する場合は、入学手続締切日にかかわらず、合格確認後、速やかに入学手続を完了してください。
 詳細は国際チーム(留学生担当)(e-mail:ryugaku@musabi.ac.jp)へ問い合わせてください。
 なお、在留資格が「留学」である方は修学環境の整備に関する諸費用相当分として留学生修学環境整備費(年間363,000円)を納入いただきます。
 ※外国人留学生で、2026年2月以降に出入国在留管理庁より「在留資格認定証明書」または、「在留資格『留学』」が不交付となった場合は、自動的に入学取り消しとなります。

学費

2026年度の学費は以下のとおりです。()内は在留資格が「留学」の場合

学部	学科・専攻	学期	入学金	授業料	維持費	施設設備費	留学生修学環境整備費 ※在留資格が「留学」の者のみ	入学金および 前期学費	後期学費	初年度 年間学費
造形学部	油絵学科 グラフィックアーツ 専攻	前期	300,000	605,000	19,000	197,500	(181,500)	1,121,500 (1,303,000)	-	1,943,000 (2,306,000)
		後期	-	605,000	19,000	197,500	(181,500)	-	821,500 (1,003,000)	
	彫刻学科	前期	300,000	605,000	19,000	205,000	(181,500)	1,129,000 (1,310,500)	-	1,958,000 (2,321,000)
		後期	-	605,000	19,000	205,000	(181,500)	-	829,000 (1,010,500)	
造形構想 学部	映像学科	前期	300,000	605,000	19,000	190,000	(181,500)	1,114,000 (1,295,500)	-	1,928,000 (2,291,000)
		後期	-	605,000	19,000	190,000	(181,500)	-	814,000 (995,500)	

- * 入学手続時に後期学費も一括納入できます。
- * 入学時には別途、学生教育研究災害傷害保険料および学研災付帯賠償責任保険料合計4,660円(予定)が徴収されます。
- * 卒業年次には別途、校友会費が徴収されます。
- * 2年目以降は入学金を除く学費が必要です。

通信機器（ノートパソコン等）の準備について

本学では以下の理由から、入学後に使用するノートパソコン等の通信機器の準備を必須としています。
 ・学修を進める上で必要なデジタル資料の受領や課題の提出、プレゼンテーション資料作成に支障をきたさないため。
 ・今後も継続する可能性のあるオンライン授業の受講に支障をきたさないため。
 ・ICT機器の活用スキル、情報リテラシーの向上に資するため。
 *クリエイティブイノベーション学科については、大学が指定するMacノート(PC)を購入していただきます。詳細は合格者向けwebサイトに掲載します。
 *その他の学科については、購入にかかる推奨PC等の情報を合格者向けwebサイトに掲載します。

奨学金制度について

武蔵野美術大学は高等教育の修学支援新制度の対象校に認定されています。
 制度の詳細は文科省該当ページ、在籍中の学校にお問い合わせください。
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm
 認定者の入学後の手続きは学生生活チーム奨学金担当TEL(042-342-6028)へお問い合わせください。
 また、武蔵野美術大学独自の奨学金制度については、大学webサイト奨学金ページを参照してください。
https://www.musabi.ac.jp/student_life/tuition/scholarship/

入学前課題について

合格者には入学前課題があります。
 詳細については、後日合格者向けwebサイトに掲載します。

過去の入試データ

過去の総合型選抜試験問題は、本学webサイトでも一部公開しています。
<https://www.musabi.ac.jp/admission/other/past-exam/>
 過去の総合型選抜結果は、本学webサイトにて公開しています。
<https://www.musabi.ac.jp/admission/other/data/>

油絵学科グラフィックアート専攻の理念と教育課程の特色

版画の学びを止めるのではなく、積み重ねられてきた版画の歴史の上にイラストレーションや絵本、ブックアート、デジタル表現といった解き放たれた版画の姿を重ね合わせることがグラフィックアート専攻の理念と教育課程の骨格となっています。

印刷技術に出自を持つ版画は、社会の中で情報の複製と伝達という中核的な機能を担いながら、柔軟にその姿を変えて今日まで受け継がれてきました。急速なデジタル化が進む現代においても色あせることなく、その存在価値を発揮し続けています。美術作品として存在するだけでなく、日常生活の傍らでもデザインという立ち位置に軸足を移して産業、そして社会を支えているのです。アナログやデジタルを問わず、あらゆる複製メディア表現にその規範が広がりつつある中、解き放たれた版画、すなわちグラフィックアートの可能性をとことん追求していく場がムサビのグラフィックアート専攻なのです。

繰り返しますが、グラフィックアート専攻におけるすべての学びの出発点が、版画であるという考え方が教育課程の基本です。長い歴史の中で培われてきた版画の技法や表現展開を、高度な専門性の中でアカデミックに習得することから学びがスタートします。そのうえで、イラストレーションや絵本、ブックアート、デジタル表現といったデザイン領域へと展開し、貴重書研究なども含めた幅広い視座も併せながら、きめ細かく指標を定めていく指導が特徴です。

総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

●実技

3時間の短い時間の中で、モチーフに真正面から向き合いながら、逃げずにどこまで実直に、根気強く描き切ることができたか。提出された実技作品の一般的な完成度よりもむしろ、画面から推し測られる、集中力や洞察力などの能力を積極的に評価します。

●ポートフォリオ

自分自身が今までやってきたこと、これからやりたいことを積極的にアピールしてください。一般選抜のように実技能力の到達度を第一に見るのではなく、ポートフォリオの中に収められた作品資料から、推し測られる将来の可能性を積極的に評価したいと考えています。今まで取り組んできた作品や活動をA4ファイル1冊に収めて、プレゼンテーションしてください。すべてが万遍なく満たされた、標準的な造形力だけを問うものではありません。偏っていても構わないので、自分の一番自信があるもの、自分の力が一番発揮できた作品群を系統的に見せてください。油絵、デッサン、版画、水彩画、写真、イラストレーションなどのほか、ポスターや絵本なども構いません。ファイン系だけでなく、デザイン領域の作品も積極的に評価します。ジャンルや媒体は問いませんので、自分の可能性をどんどんアピールしてください。もちろん、受験対策課題として取り組んだ油絵やアクリル、着彩、デッサン、色彩構成などを中心にまとめて、ベーシックな造形力そのものをアピールしても全く構いません(実作品はポートフォリオには入れないこと。紙に印刷した作品画像を中心にまとめるのが一般的です。作品データについても過不足のない記載が望ましいです。総合型選抜[前期]を受験した受験生は、同一のポートフォリオでも構いません。もちろん、新たにつくっても構いません)。

●面接

面接を通して自分が将来やりたいことや、進みたい方向性を積極的にアピールしてください。なぜ、ムサビのグラフィックアート専攻で学びたいかも明確に意識しておいた方がよいです。滑らかに答える必要はありません。つまりながらでも構わないので、しっかりと自分の意見を、自分の言葉で述べてほしいと考えています。

②受験生に期待すること

総合型選抜[前期]と同様に粗削りでも、その人の可能性、“何か光るもの”を見極めたいと考えています。試験当日、3時間の実技試験を課しますが、その取り組み方を含めて、入学後に学ぶグラフィックアート専攻のカリキュラムに必要な基礎的な造形力を問うものです。その場合も、現時点での実技能力の到達度を第一に見るのではなく、将来、開花するであろう潜在的な資質を幅広く、見極めたいと考えています。何かが足りなくても、それを補うような、可能性や方向性、集中力、やり抜く強い意思などを実技、ポートフォリオ、面接を通して積極的にアピールしてほしいと考えています。

1. 選考方法

デッサン、ポートフォリオ(作品資料ファイル)および面接による審査

デッサン、ポートフォリオ(作品資料ファイル)および面接により総合的に評価し、合格者を決定します。

*総合型選抜[前期]の合格者は出願できません。

2. 提出物

ポートフォリオ(作品資料ファイル)※試験日当日に持参

以下の要領に基づき作成してください。

- A4サイズのクリアファイル1冊に自身の作品資料をまとめて収録してください。
- ポートフォリオに収録する作品資料は、自身で制作したものであれば、内容は自由とします。学校等の課題で制作した作品資料でも、自主制作の作品資料でも構いません。自分が見てもらいたい作品資料を収録してください。
- 作品資料は作品の写真を基本とします。作品名、サイズ、素材(画材)、制作時期を明記してください。作品そのものをポートフォリオに収録した場合、破損および紛失した際の責任は負いません。
- 作品資料は、規定のサイズ、冊数が守られていれば何点収録しても構いません。
- 共同制作等の資料については、制作の過程において志願者本人が担当した内容を明記してください。
- ポートフォリオに略歴を収録したい場合は用紙1枚に簡潔にまとめてください。
- ポートフォリオには教員へのメッセージ、自作ではない作品資料、収録作品と関連がない資料等は収録しないでください。
- ファイルの表紙に必ず「作品用氏名ラベル」を貼付してください。
- 総合型選抜[前期]の受験者は同一のものでも構いません。
- ポートフォリオ(作品資料ファイル)は試験終了後に返却します。

3. 選考日時

12月21日(日)	8:45~9:15	ポートフォリオ提出
	9:30~12:30	デッサン(木炭または鉛筆を当日選択)
	13:30~	面接

4. 携行用具

木炭、鉛筆デッサン用具、消具、カッターナイフ、フィクサティブ(定着液)、パネルまたはカルトン(51cm×66cm以上)、画鋸またはクリップ、下敷き用紙(木炭を使用する場合は無地に限る)、その他デッサン用具

※特定の携行用具の使用可否については、お問い合わせいただいても回答はできません。

募集要項記載内容をご自身で判断し、試験当日持参した用具について試験官に注意を受けた場合は、その指示に従ってください。

▣ 彫刻学科の理念と教育課程の特色

Sculpture(彫刻の表現)は「未知の世界を現実の空間に出現させることができる領域」です。この表現は、「触覚」という人間の最も根源的な感覚をベースに持つ、極めて原初的なものでありながら、人間の歴史をつくってきた様々な素材と技術(土/石/木/ブロンズ/鉄などの伝統的な技術、プラスチック/デジタルなどの現代的な技術)と結びつき、他の芸術ジャンルに比して独自の世界をつくっています。彫刻は「彫る、刻む」と書きますが、これは広い意味で「物質に働きかけること=つくる行為」を意味します。さらに別の言い方をすれば、彫刻は「物を存在させる表現」と言うことができるでしょう。

彫刻学科は「工房を駆使する学科」です。他に類を見ない設備とスペースを持った8つの工房(塑像/セラミック/石彫/木彫/金属/プラスチック/ミクストメディア/デジタル)を駆使することから制作をします。これらの工房と、4年間を通して表現についての思考を深めるカリキュラムの組み合わせにより、一人ひとりが深く一つの素材を追求することも、複数の素材に関わって独自の領域を発明していくことも可能な制作環境となっています。

彫刻は、伝統的な制作方法と作品を更新しながら、同時に全くこれまでの歴史とは関係ない方法を発明し、作品を作り出すことでその世界を拡大してきました。彫刻ときいても何をイメージしていいかわからない人がいる理由は、この彫刻の拡大し、変化していく性格にあると思います。

私たちが生きる現在(いま)を考え、彫刻という方法を学ぶことから、その先にどのような表現を見つけるのか。みなさんが実現できる表現は拡大し、変化し続けているのです。

▣ 総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準

●ポートフォリオ

1~2年前から現在までに制作した作品を、A4サイズのクリアファイル1冊にまとめて提出してください。作品データには、必ず「作品名」「制作年」「作品の大きさ(高さ×幅×奥行cm)」「素材」を入れてください。「ものの見方の進展」を評価のポイントの一つとします。作品は少なくとも3点以上掲載してください。

●面接

大学に入学するとさまざまな美術作品や作家の考え方に触れることになります。知識も必要ですが、好奇心も大切です。作品の好き嫌いばかりではない「興味の許容量」を問う質問をする場合があります。また提出作品についての簡単なコメントを求めます。

●塑造

立体的な造形力と課題に対する積極的な理解力、ものを見る力(観察力と分析力)を求めます。

②受験生に期待すること

私たちの学科は、多様な入試方式を取り入れ、一般選抜では測りきれない資質の人材を受け入れたいと考えています。独創的な感性も大切ですが、試行錯誤を恐れずに制作を続ける根気と好奇心、探究力があることを求めます。

1. 選考方法

塑造、ポートフォリオ(作品資料ファイル)および面接による審査

塑造、ポートフォリオ(作品資料ファイル)および面接により総合的に評価し、合格者を決定します。

*総合型選抜[前期]の合格者は出願できません。

2. 提出物

ポートフォリオ(作品資料ファイル)※試験日当日に持参

以下の要領に基づき作成してください。

- A4サイズのクリアファイル1冊に1~2年前から現在までに制作した自身の作品資料をまとめて収録してください。
- ポートフォリオに収録する作品資料は、自身で制作したものであれば、内容は自由とします。学校等の課題で制作した作品資料でも、自主制作の作品資料でも構いません。自分が見せたい作品資料を収録してください。
- 作品資料は作品の写真を基本とします。作品名、サイズ、素材(画材)、制作時期を明記してください。作品そのものをポートフォリオに収録した場合、破損および紛失した際の責任は負いません。
- 作品資料は、規定のサイズ、冊数が守られていれば何点収録しても構いません。
- 共同制作等の資料については、制作の過程において志願者本人が担当した内容を明記してください。
- 展覧会、コンクール等に入選したことを証明する資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事がある場合は、ポートフォリオに収録しても構いません。収録する際は資料の出典、発行年月等を併記してください。
- ポートフォリオに略歴を収録したい場合は、用紙1枚に簡潔にまとめてください。
- ポートフォリオには教員へのメッセージ、自作ではない作品資料、収録作品と関連がない資料等は収録しないでください。
- ファイルの表紙に必ず「作品用氏名ラベル」を貼付してください。
- 総合型選抜[前期]の受験者は同一のものでも構いません。
- ポートフォリオ(作品資料ファイル)は試験終了後に返却します。

3. 選考日時

12月21日(日)	8:45~9:15	ポートフォリオ提出
	9:30~12:30	塑造
	13:30~	面接

4. 携行用具

鉛筆、消具、カッターナイフ、手拭い

*へらは携行不可とします。使用する場合は大学より配付します。

映像学科の理念と教育課程の特色

映像学科は1990年の創設以来、時代に先駆けて「多面的」学習方法と「全方位的」教育理念を併せ、映像の「総合的教育」に取り組んできました。「専門的に学ぶこと」と「総合的に学ぶこと」は、一見矛盾しているようですが、本来の専門性は総合的に学ぶことからしか得られません。

さらに、2019年の造形学部から造形構想学部への改編をふまえ、総合的造形教育と社会に対する広範な知識の教授を基盤として、映像表現分野とテクノロジー分野の交錯する領域において創造的思考力を発揮する人材を育成したいと考えています。幅広い教養に通じ、歴史的背景を理解しながらも、変化する社会状況と技術・表現に適応し、新たな価値を産み出しうる映像表現者、文化創造の担い手となる人材の養成を教育目標としています。具体的な領域として、写真・映画・アニメーション・イメージコンピューティング・メディアアート・映像空間を基柱とし、未分化な新領域へも視野を広げて融合と拡張を目指します。

総合型選抜の審査基準と受験生に期待すること

①審査基準(構想力テスト)

自身の企画について、意図や魅力を明確に表現できるか、多様な価値観に興味や理解を示し、ディスカッションを通して共有発展させる力があるか、テーマと状況を俯瞰し、理解と寛容、機転と配慮を持って議論に貢献できるかについて評価します。

②受験生に期待すること

映像作品には、個人的、私的作業の積み重ねによって生み出されたものと、様々な役割を持った人々の集団作業、共同作業によって生み出されるものがあります。

ディレクション資質重視方式で受験生に期待することは、後者の集団作業、共同作業の中心的役割を果たす資質です。映像作品の制作に情熱を抱いていることは当然として、リーダーシップやコミュニケーション能力、信頼感、説得力などの資質が期待されます。例えば高校生活の中で、生徒会やクラス委員の経験、クラブ活動や自主的グループ活動、あるいはイベントなどでリーダー的役割を果たした経験などは評価されるでしょう。

映像作品制作の経験の有無は問いません。この方式では、映像のあらゆる分野を総合的に学ぶ本学科のカリキュラムから、ディレクター、監督を志す人を求めています。

出願時の注意事項

- ・総合型選抜[前期]クリエイション資質重視方式、外国人留学生特別選抜、帰国生特別選抜に出願された方は、本方式への出願ができません。

第1次選考**1. 選考方法****自己推薦調書による審査**

自己推薦調書に基づき選考を行い、第2次選考対象者を決定します。
選考結果については、12月1日(月)11:00に本学 web サイトに掲示します。
※第2次選考を受験できるのは第1次選考合格者のみです。

2. 提出物**自己推薦調書**

本学所定の用紙に、以下のテーマに基づき記述してください。出願書類と共に郵送してください。

ディレクション資質重視方式自己推薦調書テーマ

高校生活における生徒会やクラブ・サークル・イベントなどの活動の中で、その集団をまとめ、ある方向に導くためにあなたが果たした役割・アイデア・方法などについて、あなたが実際に経験したことを1200字以内で書いてください。

*用紙は本学所定の用紙「自己推薦調書」No.1~3を使用してください。用紙にはすべて氏名を記入してください。

*BもしくはHBの鉛筆または黒のボールペンで記入してください。ワープロ等の使用は認められません。

第2次選考**1. 選考方法****構想力テスト、面接****・ 構想力テスト**

グループに分かれ、共通に与えられた問題について自分の構想をまとめ、その結果を各自発表(プレゼンテーション)し、発表後、それぞれの構想について全員でディスカッションを行う試験です。

2. 選考日

12月13日(土) 構想力テスト

14日(日) 面接

*選考の時間は個別に通知します。

3. 携行用具

鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る、BもしくはHB)、消具

※ペン、下敷きの使用は認めない。

出願について

Q1 複数の学科・専攻を併願できますか？

A 総合型選抜においては、出願は一つの学科・専攻・方式のみ可能です。ただし、一部方式を除き、前期、後期ごとにそれぞれ別学科・別専攻・別方式の出願は可能です。

例) 前期:油絵専攻+後期:グラフィックアーツ専攻
 ※前期:映像学科(クリエイション資質重視方式)と
 後期:映像学科(ディレクション資質重視方式)の
 併願はできません。

Q2 出身高等学校の廃校や、調査書の保存期間が終了して調査書が提出できない場合は、どうすればいいですか？

A 調査書の代わりに卒業証明書および成績証明書を提出してください。

Q3 学校長の推薦書は必要ですか？

A 必要ありません。

Q4 調査書の「学習成績の状況」はどのように扱われるのですか？

A 調査書の学習成績の状況(評定平均値)が直接選考時に使用されることはありません。

Q5 もし、総合型選抜[前期]で不合格になっていた場合、総合型選抜[後期]を受験することはできますか？

A 総合型選抜[前期]で同じ学科・専攻を受験していても、異なる学科・専攻を受験していても受験できます。ただし、映像学科[前期]クリエイション資質重視方式と[後期]ディレクション資質重視方式の併願はできません。なお、総合型選抜[前期]の選考結果は一切影響しません。

事前相談について

Q1 事前相談は実施するのですか？

A 彫刻学科、映像学科は事前相談を実施します。事前相談は相談内容をメールで送っていただき、学科より回答するものです。受付期間は10月30日(木)までです。

Q2 事前相談を実施している学科では、事前相談をしたほうが合格の可能性が高いですか？

A 事前相談は、学科に関する質問の受け付け、および学科の教育内容の紹介を目的としており、選考ではありません。よって、相談内容が選考に反映されることはありません。

映像学科の試験について

Q1 実技の勉強(デッサンやデザイン等)をしたことがありませんが、出願できますか？

A 出願資格を満たしていれば、実技の勉強経験の有無にかかわらず出願できます。
 「実技の経験はないが、映像学科にとっても関心がある」という人にもぜひ出願してほしいと考えています。

その他

Q1 保護者控室はありますか？

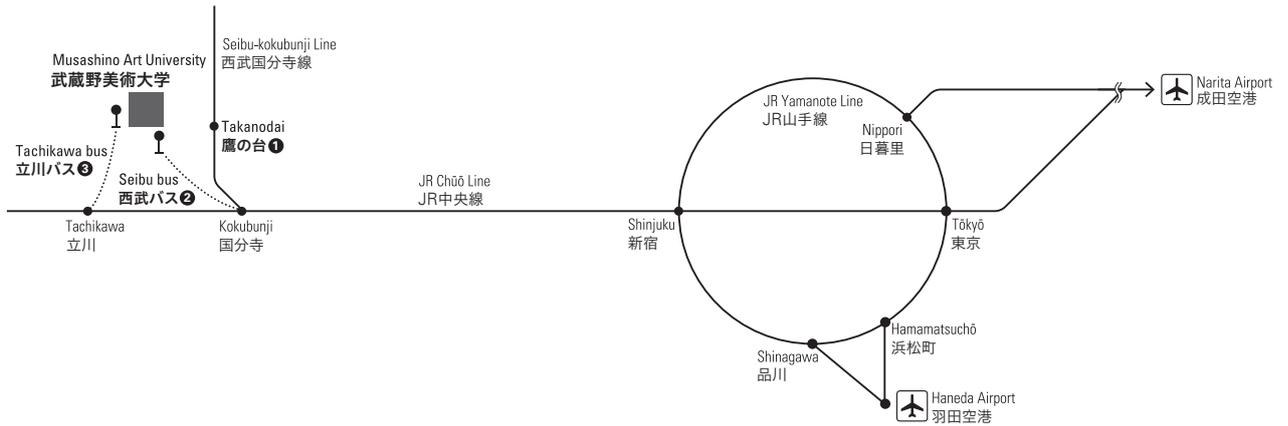
A 保護者等付き添いの方の控室はありません。作品搬入の補助などでの入構はできますが、終了次第速やかに退構してください。

Q2 駐車場はありますか？

A 大学では駐車場を用意しておりません。公共交通機関を利用してください。
 自家用車等での送迎は、路上駐停車により近隣にお住まいの方の迷惑となりますので、ご遠慮ください。

本学へのアクセス

路線図



総合型選抜(後期)

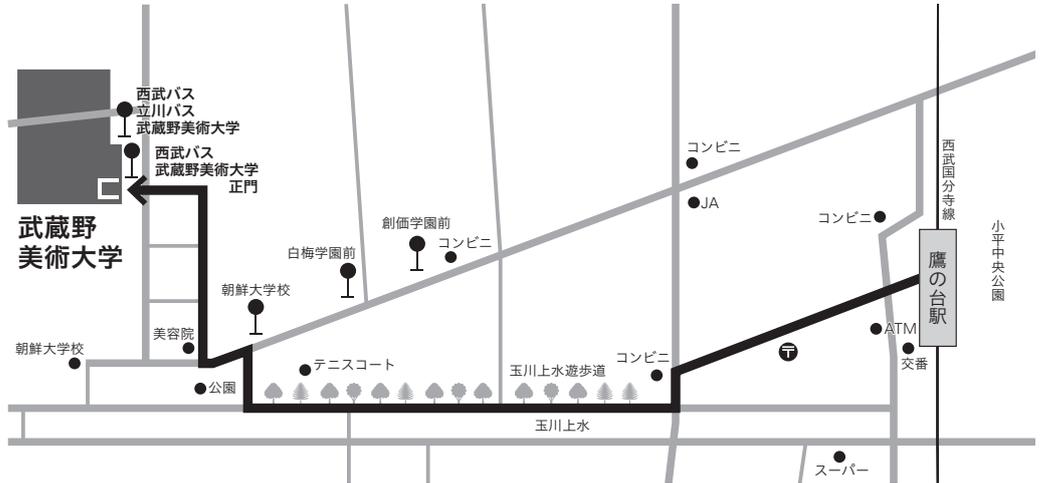
最寄り駅からのアクセス(鷹の台キャンパス)

① 西武国分寺線「鷹の台」

駅下車徒歩18分

入学試験で来校の場合、バスは道路事情等により遅れることがあるので、この経路を利用することをおすすめします。

- ◎ JR中央線から「国分寺」駅乗換、「東村山」行(2駅目)
- ◎ 西武新宿線から「東村山」駅乗換、「国分寺」行(2駅目)



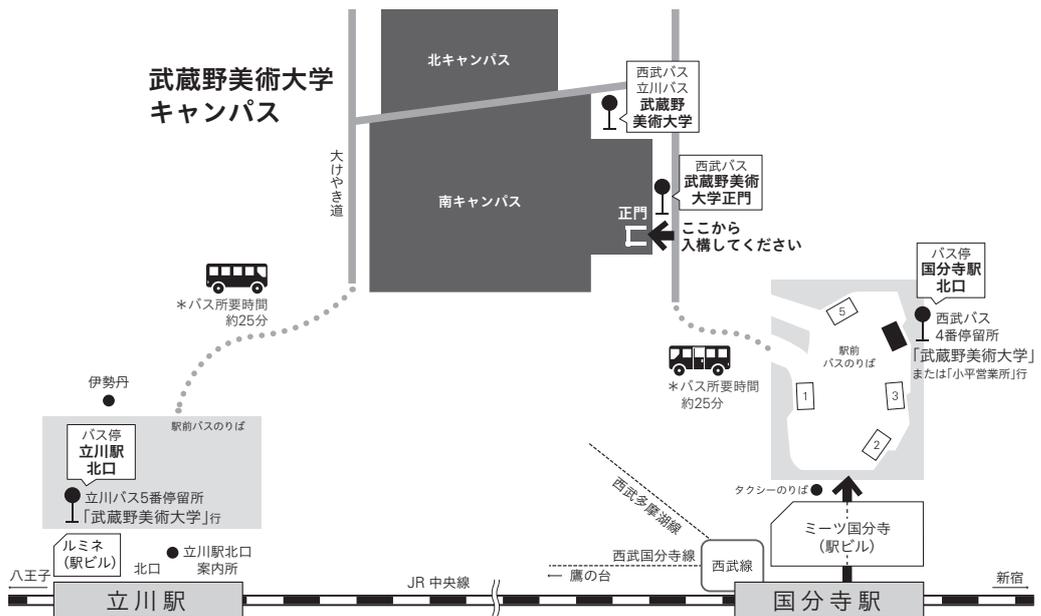
② 西武バス「武蔵野美術大学正門」

停留所下車すぐ

- ◎ JR中央線「国分寺」駅北口下車「国分寺駅北口」4番停留所より「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行に乗車(バス所要時間:約25分)

※ 試験日によっては、別の乗り場から臨時便が出る場合があります。乗り場近くの誘導員などの案内に従ってください。

武蔵野美術大学キャンパス



③ 立川バス「武蔵野美術大学」

停留所下車すぐ

- ◎ JR中央線「立川」駅北口下車「立川駅北口」5番停留所より「武蔵野美術大学」行に乗車(バス所要時間:約25分)

誓約書

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

2026年度 武蔵野美術大学総合型選抜、学科
(専攻)へ出願するにあたって、この志望学科・専攻を専願することを
確約します。

また試験に合格し、手続を経て入学許可を得た後も専願であることを遵守いたします。

年 月 日

本人住所

フリガナ

氏名

印

出身校名

保護者氏名

印

2026年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2026年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズのファイル1冊	2025.11

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。

以上 1 点

2025 年 11 月 12 日

志望学科・専攻・コース 油絵学科グラフィックアート専攻 or 彫刻学科

フリガナ
誓約者氏名(自署)ムサシノ ミコ
武蔵野 美子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2025 年 11 月 12 日

所属(職位) ○○ 高校 教員

日本語学校等に通っている者は
日本語学校等の教員の証明可と
します。

氏名(自署) 山田 太郎 印

誓約者との間柄 指導教員

必ず捺印してください。

連絡先(電話番号) XXX-XXXX-XXXX

(e-mail) xxxxxxxxxxx@xxxx.xx.xx

※証明内容について問い合わせることがあります。

2026年度 武蔵野美術大学入学試験
提出作品自己作成証明書

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2026年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズのファイル1冊	

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文を添付すること。

以上 1 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。
なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(電話番号)

(e-mail)

※証明内容について問い合わせることがあります。

作品用氏名ラベル

※受験番号

※作品提出が受験票公開前の場合は、受験番号は未記入のまま作品に貼付してください。

下記項目を記入のうえ、提出作品等 1 つにつき 1 枚ずつ貼付してください。

武蔵野美術大学

志願する学科・専攻・コース等			
フリガナ 氏名		作品提出日	
印		2025年	月 日
番号	作品種類 ポートフォリオ	仕様・媒体など	制作年月 年 月

番号、作品種類、仕様・媒体など、制作年月は出願時に提出した提出作品自己作成証明書と一致させてください。

作品用氏名ラベル

※受験番号

※作品提出が受験票公開前の場合は、受験番号は未記入のまま作品に貼付してください。

下記項目を記入のうえ、提出作品等 1 つにつき 1 枚ずつ貼付してください。

武蔵野美術大学

志願する学科・専攻・コース等			
フリガナ 氏名		作品提出日	
印		2025年	月 日
番号	作品種類	仕様・媒体など	制作年月 年 月

番号、作品種類、仕様・媒体など、制作年月は出願時に提出した提出作品自己作成証明書と一致させてください。

作品用氏名ラベル

※受験番号

※作品提出が受験票公開前の場合は、受験番号は未記入のまま作品に貼付してください。

下記項目を記入のうえ、提出作品等 1 つにつき 1 枚ずつ貼付してください。

武蔵野美術大学

志願する学科・専攻・コース等			
フリガナ 氏名		作品提出日	
印		2025年	月 日
番号	作品種類	仕様・媒体など	制作年月 年 月

番号、作品種類、仕様・媒体など、制作年月は出願時に提出した提出作品自己作成証明書と一致させてください。

がいこくじんりゅうがくせいにゅうがくしがんしゃちようしよ
外国人留学生入学志願者調書

しほうがつかせんこう 志望学科・専攻		がつか 学科		せんこう 専攻	
しめい 氏名 (漢字またはカタカナ)				せいべつ 性別 おとこ 男 おんな 女	
(ローマ字) First		Middle		Last (Family)	
せいねんがつび 生年月日 ねん 年 がつ 月 にちうまれ 日生(さい 歳)			こくせき 国籍		

がくれき 学歴 ※小学校入学から最終学校卒業まで年代順に詳しく記入のこと。

がっこうめい しょうがい くに と しめい 学校名(所在する国・都市名)	ざいがくしゅうきょう 在学状況	ざいがく きかん 在学期間	
(しょうがっこう 小学校)	ねん 年 がつ 月 にゅうがく 入学 ねん 年 がつ 月 そつぎょう 卒業・てんしゅつ 転出	ねん 年 か げつ 九月	
(がっこう 学校)	ねん 年 がつ 月 にゅうがく 入学・てんにゅう 転入 ねん 年 がつ 月 そつぎょう 卒業・てんしゅつ 転出	ねん 年 か げつ 九月	
(がっこう 学校)	ねん 年 がつ 月 にゅうがく 入学・てんにゅう 転入 ねん 年 がつ 月 そつぎょう 卒業・てんしゅつ 転出・そつぎょう みこみ 卒業見込	ねん 年 か げつ 九月	
(がっこう 学校)	ねん 年 がつ 月 にゅうがく 入学・てんにゅう 転入 ねん 年 がつ 月 そつぎょう 卒業・てんしゅつ 転出・そつぎょう みこみ 卒業見込	ねん 年 か げつ 九月	
(がっこう 学校)	ねん 年 がつ 月 にゅうがく 入学・てんにゅう 転入 ねん 年 がつ 月 そつぎょう 卒業・てんしゅつ 転出・そつぎょう みこみ 卒業見込	ねん 年 か げつ 九月	
(がっこう 学校)	ねん 年 がつ 月 にゅうがく 入学・てんにゅう 転入 ねん 年 がつ 月 そつぎょう 卒業・てんしゅつ 転出・そつぎょう みこみ 卒業見込	ねん 年 か げつ 九月	
(がっこう 学校)	ねん 年 がつ 月 にゅうがく 入学・てんにゅう 転入 ねん 年 がつ 月 そつぎょう 卒業・てんしゅつ 転出・そつぎょう みこみ 卒業見込	ねん 年 か げつ 九月	
	つうさんざいがく きかん 通算在学期間	ごうけい 合計 ねん 年 か げつ 九月	
しよくれき 職歴	しよくばめい 職場名	しよざいち 所在地	きんむ きかん 勤務期間

がいこくじん りゅうがくせい にゅうがく し がんしゃ ちようしよ
外国人留学生入学志願者調書

<p>し ほう がっ か せんこう 志望学科・専攻</p> <p>がっ か 学科</p> <p>せんこう 専攻</p>	<p>フリガナ しめい 氏名</p>
<p>にゅうがく こ がくしゅうけいかく けんきゅうけいかく にほんご くわ か 入学後の学習計画または研究計画(日本語で詳しく書きなさい)</p>	
<p>ほんがくそつぎょうご けいかく にほんご くわ か 本学卒業後の計画(日本語で詳しく書きなさい)</p>	